

# 鬼怒川改修五十里 調整池堰堤工事用發電所に就て

内務省東京土木出張所長 眞田 秀吉  
工 學 博 士

## I

魚怒川改修工事は其下流部に於て改修を加へ、上流部に於ては大左支男鹿川筋海跡の河袋(栃木縣鹽谷郡三依村及栗山村)に一大貯水池(容量約五千五百立方メートル)を設け、大雨の際水源より流下し來る洪水を池中に停滯せしめ、排水門を設けて徐々に之を排流し、之により河道改修區域上流端に於ける最大流量五千立方メートルを四千立方メートルに低減せしむるの計畫なり。これがため三位村大字五十里字關門地先に一大堰堤(高さ基礎岩盤より百七十米男鹿川低水面以上六十米堰堤長二百三十米)を築造するものとする。本工事は同堰堤の作業用動力を得るの目的を以て施工せるものにして、其水路の一半は堰堤築設地たる男鹿川平水の排水路を兼ねるものなり。其要項を擧ぐれば

容量其他 發生電力 1,000キロワット、電壓 3,300ボルトにして使用水量  
4.4立方メートル、落差25米、水壓鐵管經 1米60、馬力 600馬力に  
して「フランス」型水車 2臺、水路延長 800米(殆ど全部隧  
道)、工費 180,000圓内 機械購入費 41,900圓  
工 事 費 138,100圓

起工 昭和5年5月1日

竣功 昭和6年7月10日

## II

調整池堰堤工事用材料運搬は、栃木縣鹽谷郡藤原村大守藤原下野電氣鐵郎終點より同區三依村大字五十里字關門地先堰堤築設地點迄、此の延長12軒餘の區間の縣道、即ち會津街道を改良擴築し、是れに15軒軌條軌間760 釐の軌道を敷設し、七輛ディーゼル機關車を運轉作業す。

路線の最急勾配20分の1、曲線最大半徑20米、幅員最小4米6にして機關車一輛の牽引力は15軒餘なり。

工費 200,000圓餘

内 譯

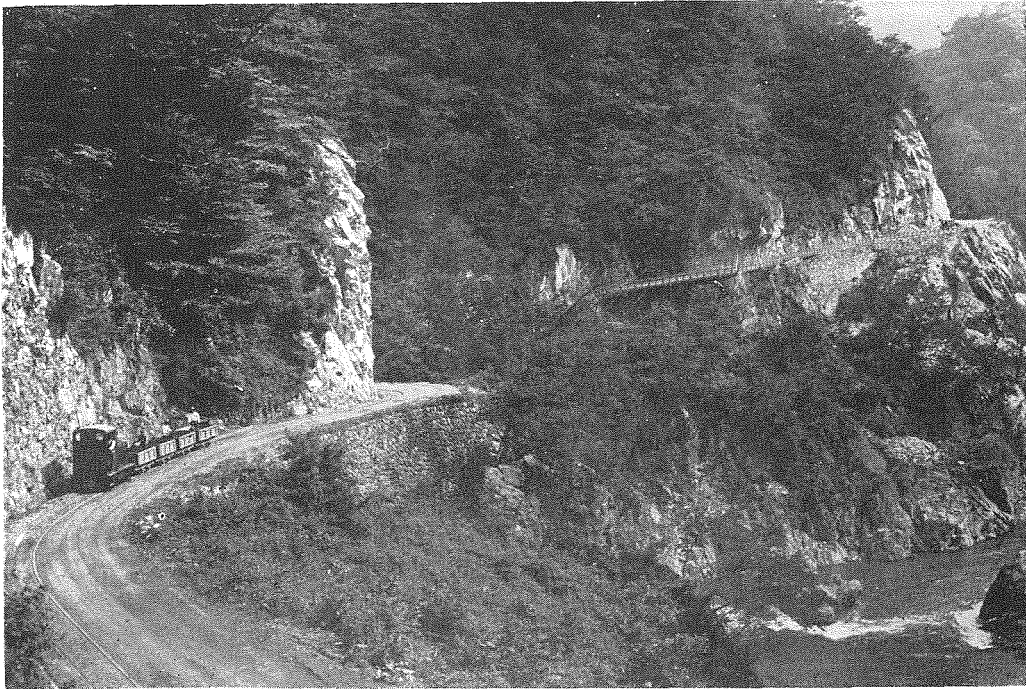
112,000圓餘 道路擴築及改良費(架橋費を含む)

27,000圓餘 軌道敷設及停車場設備費

61,000圓餘 ディーゼル機關車及器具購入費



1. 鬼怒川改修五十里(イカリ)調整池堰堤工事用發電所、  
上流左岸より見る、(拔和六年七月中旬現狀)



2. 鬼怒川改修五十里(イカリ)調整池堰堤工事材料運搬軌  
道、三岩の嶮附近の景 (昭和六年七月中旬現狀)

